



文章中の氏名・画像等はHP掲載にあたり、省略・加工してあります。ご了承ください。

## ★ 命を守る行動を【新燃岳を考える日】

能登半島で起こった大地震、多くの被災者が現在も避難生活を強いられています。「集団避難」をした中学生たちも、約1か月が経とうとしています。同じ年代の中学生が親元を離れ、不安な中、学習に取り組んでいます。自分たちが恵まれた状況で学校生活を送ることができていることに感謝し、今できることに精一杯取り組むことが、被災地を応援することにつながると思います。



井村隆介 准教授

1月26日（金）に「新燃岳を考える日」を実施しました。引き渡し訓練で道路の混雑も合ったと思います。町内の皆様、ご協力ありがとうございました。

当日は、鹿児島大学准教授の井村隆介先生による講演がありました。13年前に起こった新燃岳の噴火を中学生でも覚えている人は少ないこと、この噴火の規模を、桜島の噴火（噴出物の量）と比較して、とてつもない大きさだったことなどを説明していただきました。【桜島が1年間に噴出する噴出物の量の5倍の噴出物を、当時、新燃岳は、わずか2日間で噴出しました。】

井村先生は、**危険を避ける行動にはちゃんと意味がある。「なぜ、窓から離れなければならないのか。」「ヘルメットをかぶったり、机の下にもぐったりするのはなぜか。」**しっかり意味を考えてほしい。理由が分かれば、どこにいても自分で考えて行動することができるとお話ししました。いつ起こるか分からない災害、正しい知識をもって、適切な判断、行動ができるようにしなければならぬと改めて感じる機会となりました。

その後、町内の小・中学校一斉に「引渡訓練」を行いました。高原中学校は、体育館内に集まった生徒を2か所のルートで引き渡していきます。地区ごとに時間差で迎えに来ていただき、保護者の確認を取りながら引き渡しを行いました。保護者の皆様のご協力のおかげで、ほぼ予定時間どおりに引き渡しを終えることができました。



2つのコースに誘導して



体育館と校舎の渡り廊下と



体育館東側で引き渡し

引渡訓練の様子を引き続き、井村先生にも見ていただきました。新燃岳噴火の当時から継続して関わっていただいている井村先生には、今回の引き渡しの状況を見て、どのように感じたのか。訓練後に役場の方々とともにフィードバックをしていただきました。まず、「引き渡し」を行う際の大前提としては以下のとおりです。

- ① 生徒の「安全」が確認・確保されていること
- ② 保護者の安否が確認できていること
- ③ ①・②が確認されてから、引き渡し

災害発生時はスムーズな引き渡しが難しいことを想定しておく必要があります。



道路が寸断  
されているかも

断水・停電が  
起きているかも

メールが繋が  
らないかも



被災している  
家庭があるかも



学校は有事の際に避難所になる建物であり、基本的には安全が確保されているところです。新燃岳噴火と同じ13年前の東日本大震災では、安全が確保された学校・保育園から引き渡した後に被災したお子さんもいました。どの選択が最良だったのかは非常に悩ましい所です。

ただ、前ページにも書いた通り、想定通りに引き渡しができるとは限らないため、災害発生時の状況をできる限り把握し、その中で命を守るためにできる行動を臨機応変にやっていかなければなりません。

避難訓練・引き渡し訓練といった「ベース（基本）」になる行動は繰り返し練習し、もし災害が起こったときはそれまでに学んだことを生かして、「命を守るための行動」をしていくことが大切です。

災害発生時の行動について、ほかにも以下のようなことをアドバイスいただきました。



当日は防災食「救給カレー」でした。



体育館へ避難します。

「窓から離れて」は、  
「**ガラス** や**とがった物** から離れて」  
→ **意味を理解して行動しましょう**

子供は「**自分の命を守る**」ことが最優先  
→ **未来のある子どもたち。まずは自分の命を守る**ことが一番大事です。

「引き渡し方」は、一通りではない  
・教室で学担が直接 ・地区ごとに集合  
→ **災害発生時の状況に応じて行う**

「ホワイトボード」は使えるアイテム  
→ 停電で放送機器が使えず、PC 等での管理が難しい時も活躍。スマホで記録。

さらに・・・

避難所運営について  
→ **役場や地域の方々**と**日頃から確認**しておく**必要があります**。使うエリア、使っているもの等、避難所運営をスムーズに引き継ぐためにも**地域・行政との連携**が必要です。備蓄についても検討が必要です。

今回の井村先生からのフィードバック（振り返り）をお聞きして、たくさんの事を考える機会となりました。

- ・メールが繋がらなかったらどうしよう？
  - ・保護者の安否はどうやって把握しよう？
  - ・職員がフルメンバーでいるとは限らない。
- その時の状況で臨機応変に対応することを、保護者の皆様とも、確認しておくことが大切だと感じました。

## ★学力コンテスト（1・2年）、学習集会（3年）

2月1日（木）の朝学習の時間に1・2年生は数学の学力コンテスト、3年生は学習集会を実施しました。学力コンテストは1、2年共通の問題を20問、満点目指して取り組みました。昼休みに対策学習をする姿も見られ、気合の入ったコンテストになったようです。採点は代表生徒が行いました。

一方、3年生は我々が住む社会の変化について示しながら、将来身に付けておくべき力として、「行動力」「思考力」「チームワーク」についてお話がありました。先行き不透明な社会、正解がなく自分で答えを見つけていかなければならない社会、今までに無い仕事がたくさん生まれる社会。

考え、行動し、協力し合いながら課題を解決していく力を身に付けるために学習&運動に全力全開で行きましょう！



### ☆ 今後の主な行事のお知らせ（2・3月）

- 14日(水)～16日(金) 定期テスト
- 21日(水) 第4回参観日、2年立志式
- 3月5日(火)、6日(水) 県立一般入試
- 3月16日(土) 第77回卒業式
- 3月26日(火) 修了の日



定期テスト&受験 ファイト!!

